

(16) フランス France

基礎データ

人口：6,699万2,699人（2019年）
 名目GDP：2兆7,753億米ドル（2018年）
 1人当たりGDP：42,878米ドル（2018年）
 名目GDP成長率：1.52%（2018年）

日本との関係

日系企業数：719社（2018年）
 在留邦人数：42,712人（2018年）
 日本食レストラン数：全国に約3,117店。地方都市でも増加している。（2019年）

1 市場の特性と消費の傾向

フランス産米は減産傾向、EU域外からのコメ輸入が増加

A 市場の特性

フランスでは主にジャポニカ米が生産されていますが、減産傾向にあり、2018年の生産量は9万トン（2010年は13.6万トン）に減少しました。その結果、フランス産米の輸出量も減少し、2018年には45,512トン（2017年は50,743トン）でした。なお、フランス産米輸出の90～95%はEU域内向けで、そのうち4分の1がイタリアへの輸出です。

コメの消費量は年間50万トン前後で推移しています。フランスはEU第2位のコメ輸入国で、52～55%をEU域外から、45～48%をEU域内から輸入しています。ジャポニカ米は、EU域内のイタリアやスペインからの輸入が多いですが、インディカ米は主にインドやパキスタンからの輸入されており、近年はカンボジアやタイ等からの輸入が増加しています。

B 消費の傾向

フランスでは穀類の消費は減っていますが、コメの消費は増加しています。また、2000年代からの寿司ブームにより、寿司、コメなどの日本商品が現地系スーパーでも広く販売されています。店頭には、日本企業がEU域内や日本以外のアジアで生産した商品が日本産商品と共に数多く並んでいます。しかし、コメについては、日本産と他国産との価格差が大きいこと、イタリア産やスペイン産米の品質が向上していることなどから、日本産のシェアは僅かです。特に業務用では、日本産米の取り扱いが、高級レストランと一部日本人シェフのお店に限られているのが現状です。

また、新しさを競う美食の世界では珍しい日本食材が重宝され、コメ、味噌等もフランス料理の素材として使われますが、日本食材の情報が不足している面もあります。

(精米ベース)	2016	2017	2018
生産量（トン）	81,000	81,000	90,000
消費量（トン）	428,000	504,000	503,000
輸出量（トン）	55,097	50,743	45,512
輸入量（トン）	498,747	496,896	490,200

	2017	2018	2019
輸出量（トン）	61	78	93
輸出単価（円/kg）	443	410	430

	2017	2018	2019
輸出量（トン）	10	17	14
輸出額（百万円）	12	18	16

コメの主な輸入先国

イタリア、カンボジア、タイ、スペイン、パキスタン、インド、ミャンマー、ベトナム、その他

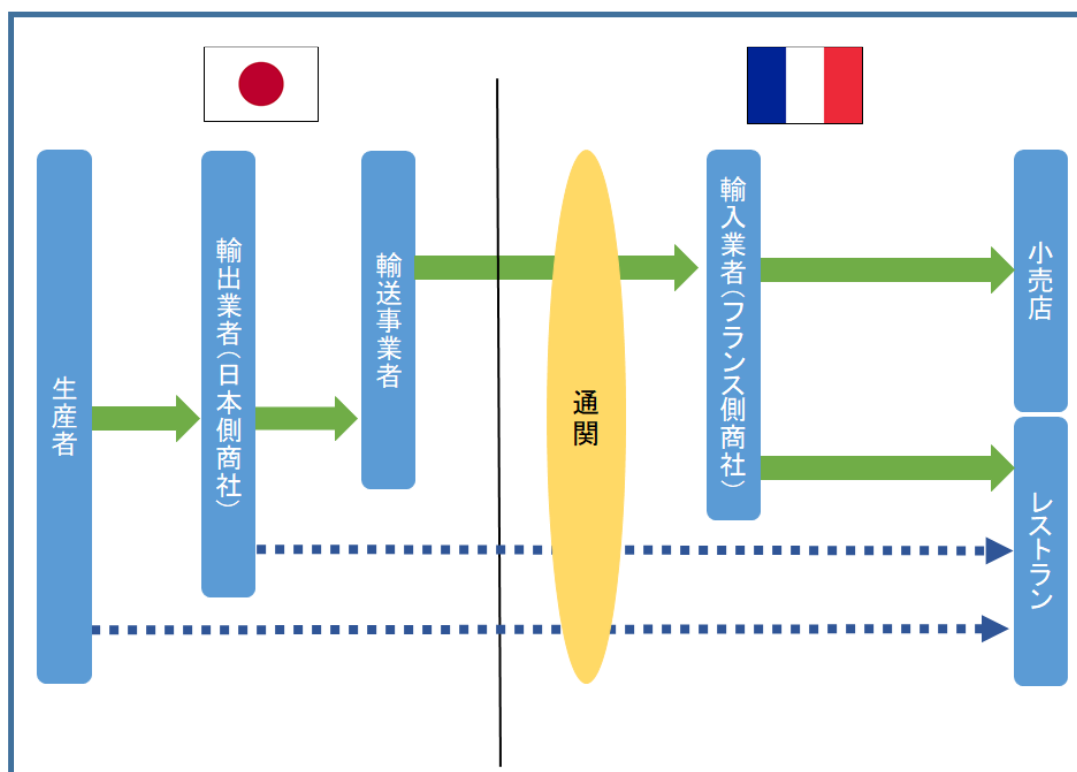
(16) フランス France

2 流通チャネルと取引慣行

小売は国内の輸入卸を通じて輸入商品を仕入れ

A 輸入商品の流通経路

日本産食品を扱う輸入業者は複数存在し、多くはフランス国内での流通機能を持っており、輸入卸として機能しています。大手小売は国内の輸入卸を通じて輸入商品を仕入れますが、一部の小売店で生産者・メーカーとの直取引により商品を仕入れるケースも存在します。



(出典) 日本易振興機構 (JETRO) 「フランスの日本食品市場の現状 (2017年6月)」より

B 取引慣行

フランスの消費者は価格に非常に敏感です。したがって、マスマーケットで商品売るためには価格競争力が必要です。また、輸入業者からは、賞味期限の短さが課題として挙げられており、特に船便輸送の場合、約3か月の輸送期間を要するため、1年以上の賞味期限が必要となります。

(16) フランス France

3 関税割当枠と関税

EU の関税体系を適用

関税割当枠

玄米または精米を 1 トンを超えて輸入する輸入事業者は、事前に輸入ライセンスを取得する必要があります。また、輸入関税がゼロもしくは減額される輸入割当枠がありますが、この割当枠を利用する場合、輸入する重量に関わらず、輸入割当ライセンスの取得が必要です。

精米は、米国、タイ、オーストラリア以外のすべての国の合計で年間 1,805 トンの輸入関税割当が設けられ、関税率がゼロに設定されます。また、玄米は従価税が 15% に固定される割当額が合計で年間 1,634 トンです。なお、日本産玄米の場合、通常は価格単価が高いため、関税割当を用いた場合の関税率よりも通常の関税率の方が低くなる場合があります。

関税

EU は域外共通関税制度の下で、域外からの輸入品の関税率は域内各国で一律となっています。

なお、2019 年 2 月に発効した日 EU 経済連携協定（EPA）において、コメは関税削減・撤廃の対象外ですが、米菓については関税が即時撤廃されました。

〈玄米および精米が該当する CN コードと関税率〉

玄米（1006.20）： 30 ユーロ/トン

精米（1006.30）： 175 ユーロ/トン

米菓（1905.90）： 含有成分により異なる（日 EU・EPA により無税）

包装米飯（1904.90.10）： 8.3% + 46 ユーロ/100 キロ

4 検疫制度と食品規制

EU 規則に基づき規制

A 検疫制度

コメや米菓を輸出する場合、特別な検疫上の措置は求められません。また、植物検疫証明書の取得も不要です。ただし、米菓に動物性原材料が含まれる場合は、EU への輸出が不可能な場合や、可能であっても動物検疫を要する場合があります。

(16) フランス France

B 食品規制

製品表示の内容

フランスでは、通関時にフランス語でのラベル表示貼付が求められるとの情報があります。貼付されない場合、輸入が認められない場合がありますので注意が必要です。

- a. 食品名
- b. 原材料リスト（単一原材料であるコメは省略可能。食品添加物については『用途＋化学物質名またはEナンバー』で示す必要）
- c. アレルギー誘発物質（※1）
- d. 特定成分の分量や使用割合（※2）
- e. 正味量
- f. 賞味期限・消費期限
- g. 特別な保管条件や使用条件（ある場合）
- h. 輸入業者の名称・住所
- i. 原産国（※3）
- j. 使用方法（説明が必要な場合）
- k. 実際のアルコール度数（飲料で1.2%以上の場合）
- l. 栄養表示（※4 ただしコメは表示義務なし）

※1 グルテンを含む穀物、甲殻類、卵、魚、ピーナッツ、大豆、乳（ラクトース含む）、ナッツ類、セロリ、辛子、ゴマ、10mg/（Lあるいはkg）の二酸化硫黄または亜硫酸塩、ルピナス、軟体動物を含む場合。原材料リストの強調表示により表記可能。

※2 商品名に含まれる原材料（Rice CrackerのRiceなど）やラベル表示で強調されている原材料が該当する。

※3 最終製品の原産地と主原料の原産地が異なる場合に表示する必要。

※4 エネルギー（kcalとKJの両方）、脂肪、飽和脂肪酸、炭水化物、糖類、タンパク質、塩分について100gあるいは100mlあたりで表記。

重金属・汚染物質

欧州委員会規則（EC）1881/2006により食品カテゴリー毎に汚染物質の上限値が規定されています。コメではヒ素（玄米で0.25mg/kg、精米で0.2mg/kg）及びカドミウム（0.2mg/kg）等の基準値となっています。

残留農薬基準

ポジティブリスト制となっており、欧州議会・理事会規則（EC）No 396/2005によって食品の種類ごとに規定されています。すべての食品に対する残留農薬基準値は、「EU農薬データベース（EU Pesticides database）」で検索が可能です。

原発関連輸入規制

コメ・米菓いずれについても放射性物質検査証明書・産地証明書の添付は不要です。（2020年1月現在）

(16) フランス France

5 小売店の店頭価格

日本産米はEU産米の2～5倍で販売

A コメの販売価格

フランスでは、同じEU域内のイタリア産米やスペイン産米が多く販売されています。価格面では、日本産米は欧州産米の2～5倍の価格で販売されています。

表-4 コメの販売価格 (調査月: 2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (ユーロ)	円換算*
Toyama こしひかり	日本	1kg	8.9	1,143
こしひかり 有機	日本	2kg	60.4	7,754
Kokuho Rose プレミアム米	米国	5kg	22.4	2,876
みのり 玄米	スペイン	1kg	4.5	578
Riz de Camargue TAUREAU AILE	フランス	1kg	1.85	238
Riz du Monde Japonica Special Sushi	イタリア	1kg	2.58	331
Riz Sp?cial Sushi WEI MING	フランス/イタリア	1kg	2.5	321
しので Sun Clad	イタリア	1kg	1.9	244
寿司米 PIGINO	イタリア	1kg	1.5	244

B 包装米飯の販売価格

欧州産米は1パック100g前後の小さな包装が複数個入ったパッケージとして販売されており、総量も日本産米よりも多いです。また、日本産米は1パックあたりの量が多く、欧州産米よりも単価も高いです。なお、欧州で加工され販売されている包装米飯は長粒種であり、日本産とは種類が異なります。

表-5 包装米飯の販売価格 (調査月: 2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (ユーロ)	円換算*
Table Mark インスタントこしひかり米	日本	250g	3.5	449
餅米 赤飯	日本	170g	3.2	411
Lustrucu Riz Long Grain	フランス	450g (90g×5)	1.35	173
Uncle Ben's Riz Long Grain	ベルギー	750g (125g×6)	2.46	316

C 米菓の販売価格

米菓については、日本産、台湾産の他、オランダなどの欧州産の米菓も販売されており、欧州産は価格が低めに設定されています。台湾産は日本産よりも全体的に廉価ですが、大きな差はありません。

表-6 米菓の販売価格 (調査月: 2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (ユーロ)	円換算*
Kuriyama Nagisa Arare Shoyu	日本	100g	4.65	597
Kuriyama Isono Aonori mocha	日本	75g	3.1	398
MITSUBA 煎餅	オランダ	150g	2.34	300
YUKI & LOVE Fuli Rice Crackers 餅米	台湾	168g	3.9	501
Want Want Shelly Sembei Spicy	台湾	155g	2.25	289

*2019年4月為替レート: 1ユーロ=128.38円

(16) フランス France

6 インターネット販売の実態

インターネット販売市場は成長を続け、食品小売でも IT 化の進展が激化

フランスの電子商取引・通信販売事業者連合（FEVAD）によると、フランスの E コマース（EC）販売の 2017 年の売上高は 817 億ユーロ（前年比 14.3%増）で、過去 10 年を通じて連続して増加しています。非食品のネット購入に比べ、食品のネット購入の伸びは緩やかですが、2000 年代後半以降のフランスの食品小売業界では、IT 化の進展をめぐる競争が激しさを増しています。

「ドライブ（Drive）」の人气が市場をけん引する

近年、ネット注文した品物を登録している店舗で引き取ることができる「ドライブ（Drive）」という購入方法を大手小売が導入し、フランス全国で広がっています。ドライブ（Drive）が小売市場に占める割合は 5%程度ですが、53 億ユーロの売上を上げています。

フランスにおいて日本産食品を扱っている主要な EC サイト

主要 EC サイト

- | | | |
|--------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| a. Amazon | ————— | https://www.amazon.fr/ |
| b. Cdiscount | ————— | https://www.cddiscount.com/ |
| c. Vente Privée | ————— | https://www.veepee.fr/authentication/ |
| d. Carrefour | ————— | https://www.carrefour.fr/ |
| e. E.Leclerc | ————— | https://www.leclercdrive.fr/ |
| f. Rakuten-PriceMinister | ————— | https://fr.shopping.rakuten.com/ |

7 輸出拡大に向けて

フランスでは日本食人気が高まっていますが、約 3 割のフランス人が日本食レストランに行ったことがなく、過半数が日本食材を購入したことがない現状を考えると、日本食品の伸びしろはまだあると考えられます。しかし、ほとんどの日本製品のパッケージは日本語のままであるために情報が伝わらず、販売機会を逃すことが非常に多いです。保守的な側面のあるフランス人に対しては、日本とは異なる食習慣を踏まえ、コメを使ったフランス語のレシピカードを貼付して販売するなど、必要な情報の伝達を繰り返すことが不可欠です。